

2018年4月5日

No. 18 - 102

株式会社 伊予銀行

## 当行初！特許を取得しました！

～企業の業況変化を検知して、タイムリーで効果的なご提案を実現～

株式会社伊予銀行（頭取 大塚 岩男）は、企業を対象としたイベント・ベースド・マーケティング（EBM）に関する特許を取得しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

この特許は、外部データ（企業情報データベース）を活用して、特に未取引企業の販売先や仕入先、売上の増減といった変化から、金融ニーズを推測し、取引先開拓を支援する手法を発明したことにより特許として認可されたものです。この発明によって、推定される企業の新たな事業展開や金融ニーズを基に、タイムリーかつ効果的なご提案活動が可能となります。

当行では、今後もビッグデータを活用したマーケティングの高度化に取り組むことで、お客さまのニーズに沿った商品・サービスのご提供に努めてまいります。

### 記

#### 特許権

登録番号 : 特許第 6208907 号  
発明の名称 : 取引企業開拓支援方法  
特許登録日 : 2017 年 9 月 15 日

#### 特許の内容

外部データ（企業情報データベース）を活用して未取引企業の業況変化（販売先、仕入先、売上等）を検知し、当行の営業支援システムを通じて営業担当者に情報を自動配信することで取引先開拓活動を支援する一連の仕組み

EBMとは、お客さまの行動や状況の変化（イベント）から金融ニーズの発生を捉え、最適な商品・サービスを最適なタイミングでご提案するためのマーケティング手法です。当行では、2011年4月にEBMシステムの運用を開始し、お客さまのニーズを的確に把握するための取り組みを推進しております。

以 上